

虫の声

☆先日、講演会で聞いたバスの中での話です。これまで車内でトラブルがあると、下車した後、身近な公衆電話か帰宅して自宅の電話から、バス会社に抗議の電話をしてくるのが一般的でした。それが今はその場で車内から携帯電話で掛けてくる人が増えたそうです。当然、怒りがピークの時ですから、話がこじれることも多くなりました。加えて、コンビニ時代で何でも今すぐという生活習慣が、我慢を忘れさせているとも。何事にも倫理観が喪失し、我慢が減り、自分本位の犯罪が増えたのは、そうした生活環境の激変にも原因がありそうです。

APEX CLUB

'06/6 第21号

アペックス産業株式会社

『APEX CLUB』
発行 2006年6月1日(通算21号)
発行所 アペックス産業株「APEX CLUB」編集委員会
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558
ホームページ <http://www.apex-sangyo.co.jp>
発行人 元木 貢(編集委員)山口力広、野村和正
佐々木 健(事務局)田口久美

ギャラリー

鬼

羽賀 善蔵
(1910年~2003年)



樽樽亭醉居伝
藝林社 1,200円

ユーモアについて
ユーモアから遠い日本になってしまった。大学生がユーモアを説明してくれと云うからユーモアとはあなたももつてどうぞと云うことだと酒をすすめた。彼にはそれが大好きで四六時中読んでゲラゲラ笑つてゐるのだが。(中略)

日本には昔から能狂言だの鳥羽僧正、川柳だ狂歌だ江戸小咄、東海道中膝栗毛とユーモアにはこと



おじやま虫

アルゼンチンアリ

「プロフィール」

南米を原産とする外来種で、交易の発達につれて、世界各地に分布するようになつた。日本では一九九三年に廿日市(広島)で初めて確認され、現在では広島県、山口県、兵庫県、愛知県での生息が見られる。カタアリ亜科に属し、体長は二ミリから八ミリ。繁殖力が極めて旺盛(普通のアリの数十倍)だが、二十度以下では産卵しない。雑食だが特にミツ・シロップ・ジュースなどの甘味を好む。近年、在来種の生態系を破壊する恐れがあることから、特定外来生物に指定されている。

【実態】 コンクリートのひび割れの中やプランターの下など営巣場所はさまざま。

写真 デリケートベースより
虫の声

そのコロニーは家屋二軒に広がるほど広範囲で、一つの巣に百匹の女王アリと数百万匹の働きアリが同居していたケースもある。九月、十月に個体数が増加するため、この時期に家屋への侵入被害が多い。植栽の種や芽を加害することもあり、農業害虫として注目されている。

薬剤に弱いため、防除は家屋外周への粉剤処理、残留処理、コロニーへの隙間噴霧処理、食毒剤処理が有効。しかし、コロニーの範囲が広く、完全な駆除は難しい。定期的な進入防止対策が必要になります。おやつなどの食べ散らかしのこまめな掃除も基本的な対策の一つ。

羽賀 善蔵
一九一〇年、新潟県長岡市生まれ。小樽高商(現小樽商大)卒業後、長岡の家業の織維問屋を継ぎ、その傍ら、絵と書に親しむ。三十年前には長岡ヘンクラブを発足し、会長に就任。発展に尽力した。

著書には、善蔵醉居伝(新潟日報社)、樽樽亭醉居伝(藝林社)などがある。二〇〇三年没。

明治時代より代々、河井繼之助(長岡藩の家老職)の屋敷に居住した。同屋敷はこの度、繼之助記念館として長岡市に保存を委ねた。

ちやつかりプラタナス

K君の自転車通勤事情である。
※ 昨夏に上京して以来、移動には専ら自転車を活用している。



佐々学先生を偲んで
去る四月十日、私の恩師である佐々学先生が九十歳で亡くなられました。先生は、東京帝国大学医学部を卒業後、第二次大戦時、軍医として参戦した南方でマラリアの惨状を目の当たりにして、マラリアを媒介する蚊に着目し研究を始められ、戦後、大学に戻られるとさらに研究に没頭されました。

水田に発生する蚊によるマレー糸条虫症、ダニが媒介するツツガムシ病、奄美や沖縄潮溜まりの蚊によるマラリア症、奄美や沖縄甲府での日本住血吸虫症など、さまざまな風土病を基礎と応用研究で日本から一掃され、その活躍ははるか東南アジアや南太平洋に及びました。

その後、東大医科学研究所長、国立公害研究所長、富山医科大学初代学長を歴任されましたが、赴任先では必ず顕微鏡とパソコンを手元に置かれ、研究の手をいささかも緩めることはありませんでした。

ユースリカだけでも六百種を超える新種・未記録種を報告され、書かれた論文は千、随筆は六百をはるかに超えています。

先生は、さまざまな分野で大きな足跡を残されました。また、陰に陽に業界の育成にご尽力くださいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

佐々学先生を偲んで
去る四月十日、私の恩師である佐々学先生が九十歳で亡くなられました。先生は、東京帝国大学医学部を卒業後、第二次大戦時、軍医として参戦した南方でマラリアの惨状を目の当たりにして、マラリアを媒介する蚊に着目し研究を始められ、戦後、大学に戻られるとさらに研究に没頭されました。

水田に発生する蚊によるマレー糸条虫症、奄美や沖縄潮溜まりの蚊によるマラリア症、奄美や沖縄甲府での日本住血吸虫症など、さまざま

な風土病を基礎と応用研究で日本から一

掃され、その活躍ははるか東南アジアや

南太平洋に及びました。

その後、東大医科学研究所長、国立公

害研究所長、富山医科大学初代学長を歴任されましたが、赴任先では必ず顕微鏡とパソコンを手元に置かれ、研究の手をいささかも緩めることはありませんでした。

ユースリカだけでも六百種を超える新種・未記録種を報告され、書かれた論文は千、随筆は六百をはるかに超えています。

先生は、さまざまな分野で大きな足跡を残されました。また、陰に陽に業界の育成にご尽力くださいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

佐々学先生を偲んで
去る四月十日、私の恩

師である佐々学先生が九

十歳で亡くなられました。

先生は、東京帝国大学

医学部を卒業後、第二次

大戦時、軍医として参戦

した南方でマラリアの惨

状を目の当たりにして、

マラリアを媒介する蚊に着目し研究を始

められ、戦後、大学に戻られるとさら

に研究に没頭されました。

水田に発生する蚊によるマラリア症、奄美や沖縄潮溜まりの蚊によるマラリア症、奄美や沖縄甲府での日本住血吸虫症など、さまざま

な風土病を基礎と応用研究で日本から一

掃され、その活躍ははるか東南アジアや

南太平洋に及びました。

その後、東大医科学研究所長、国立公

害研究所長、富山医科大学初代学長を歴任されましたが、赴任先では必ず顕微鏡とパソコンを手元に置かれ、研究の手をいささかも緩めることはありませんでした。

ユースリカだけでも六百種を超える新種・未記録種を報告され、書かれた論文は千、随筆は六百をはるかに超えています。

先生は、さまざまな分野で大きな足跡を残されました。また、陰に陽に業界の育成にご尽力くださいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

佐々学先生を偲んで
去る四月十日、私の恩

師である佐々学先生が九

十歳で亡くなられました。

先生は、東京帝国大学

医学部を卒業後、第二次

大戦時、軍医として参戦

した南方でマラリアの惨

状を目の当たりにして、

マラリアを媒介する蚊に着目し研究を始

められ、戦後、大学に戻られるとさら

に研究に没頭されました。

水田に発生する蚊によるマラリア症、奄美や沖縄潮溜まりの蚊によるマラリア症、奄美や沖縄甲府での日本住血吸虫症など、さまざま

な風土病を基礎と応用研究で日本から一

掃され、その活躍ははるか東南アジアや

南太平洋に及びました。

その後、東大医科学研究所長、国立公

害研究所長、富山医科大学初代学長を歴任されましたが、赴任先では必ず顕微鏡とパソコンを手元に置かれ、研究の手をいささかも緩めることはありませんでした。

ユースリカだけでも六百種を超える新種・未記録種を報告され、書かれた論文は千、随筆は六百をはるかに超えています。

先生は、さまざまな分野で大きな足跡を残されました。また、陰に陽に業界の育成にご尽力くださいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

佐々学先生を偲んで
去る四月十日、私の恩

師である佐々学先生が九

十歳で亡くなられました。

先生は、東京帝国大学

医学部を卒業後、第二次

大戦時、軍医として参戦

した南方でマラリアの惨

状を目の当たりにして、

マラリアを媒介する蚊に着目し研究を始

められ、戦後、大学に戻られるとさら

に研究に没頭されました。

水田に発生する蚊によるマラリア症、奄美や沖縄潮溜まりの蚊によるマラリア症、奄美や沖縄甲府での日本住血吸虫症など、さまざま

な風土病を基礎と応用研究で日本から一

掃され、その活躍ははるか東南アジアや

南太平洋に及びました。

その後、東大医科学研究所長、国立公

害研究所長、富山医科大学初代学長を歴任されましたが、赴任先では必ず顕微鏡とパソコンを手元に置かれ、研究の手をいささかも緩めることはありませんでした。

ユースリカだけでも六百種を超える新種・未記録種を報告され、書かれた論文は千、随筆は六百をはるかに超えています。

先生は、さまざまな分野で大きな足跡を残されました。また、陰に陽に業界の育成にご尽力くださいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

佐々学先生を偲んで
去る四月十日、私の恩

師である佐々学先生が九

十歳で亡くなられました。

先生は、東京帝国大学

医学部を卒業後、第二次

大戦時、軍医として参戦

した南方でマラリアの惨

状を目の当たりにして、

マラリアを媒介する蚊に着目し研究を始

められ、戦後、大学に戻られるとさら

に研究に没頭されました。

水田に発生する蚊によるマラリア症、奄美や沖縄潮溜まりの蚊によるマラリア症、奄美や沖縄甲府での日本住血吸虫症など、さまざま

な風土病を基礎と応用研究で日本から一

掃され、その活躍ははるか東南アジアや

南太平洋に及びました。

その後、東大医科学研究所長、国立公

害研究所長、富山医科大学初代学長を歴任されましたが、赴任先では必ず顕微鏡とパソコンを手元に置かれ、研究の手をいささかも緩めることはありませんでした。

ユースリカだけでも六百種を超える新種・未記録種を報告され、書かれた論文は千、随筆は六百をはるかに超えています。

先生は、さまざまな分野で大きな足跡を残されました。また、陰に陽に業界の育成にご尽力くださいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

佐々学先生を偲んで
去る四月十日、私の恩

師である佐々学先生が九

十歳で亡くなられました。

先生は、東京帝国大学

医学部を卒業後、第二次

大戦時、軍医として参戦</